

## 日本企業の隆盛と退廃

黒田インターナショナル コンサルティング

黒田 毅

これらは唯一である。価格競争力がなくなったからである。そのため低価格におけるアドバンテージを市場に求めることが解決なのである。

また今日技術製品における要求は全ての日本企業が自己に要求するものであり、生産効率性の実現は価格と製品においてグローバル基準を要求されるものである。

これらグローバル化は必ず世界基準というものが存在し、第3諸国における価格アドバンテージとともに、市場への参加に対する正しい理解が要求されるものである。

これらは企業戦略が要求され、個別市場における自己製品の展開が、最も優れた消費者や需要をターゲットとして行うことは可能なのである。

これらは総合的な企業構築への理解が要求され、時代性における新しいシステムや技術において、市場における独自性の構築とともに、企業構築を実現することは企業の経営方針や計画において実現できるのである。

これらは既存価値観が新しい理解を要求されることなのである。これら新しい企業基準の構築は、新しい市場環境への参加を可能とできるのである。

これらは既存誠実な企業経営という基盤が新しい可能英を新規企業基準における経営において実現できることを提案するものであり、グローバル市場において、新しい競争という次世代技術とシステムにおける現実、企業の開発基盤と製品基準が、新規競争において、新しい企業基準における可能性を与えることができるのである。

これらは企業において誠実さが、評価されることは正しいのであり、これら過去の企業の努力は、新しい市場ルールにおいて完全に精査されることは一つの真実なのである。

これら市場への参加が新しい要求を有することへ、企業がグローバル基準を受け入れ、それにおいて参加することは、グローバル化という現実が全ての市場において標準化される現実への正しい判断であると考えられるものである。